

# コロナ禍だからこそ労働組合へ結集を！

## 2021年春闘共同学習決起集会を開催 全労連・黒澤幸一事務局長がオンラインで講演



黒澤事務局長のオンライン講演を聴く集会参加者

県労連、  
県医労連、  
県二〇二一  
年国民春闘  
共闘委の三  
団体共催に  
よる「二〇  
二一年春闘  
共同学習決  
起集会」が  
三月六日、  
山形市の大  
手門パルズ  
で開催され  
ました。

県労連の勝見忍議長が、  
コロナ禍の今こそ労働組合  
に結集して大幅賃上げを勝  
ち取り、最低賃金の引き上  
げ・全国一律化を実現する  
こと、これらの運動を積み  
重ね、来る総選挙で市民と  
野党が結束し菅政権を打倒  
し、野党連合政権を実現し  
ようと挨拶しました。

全労連の黒澤幸一事務局  
長が「コロナ禍だからこそ  
労働組合！二一春闘をどう  
たたかうか」と題してオン  
ラインで講演。黒澤氏は飲

け入れ病院の現場と労働者  
の実態、全山形教組の福岡  
修三執行委員長が少人数学  
級を求める運動、米沢市立  
病院労組の伊藤永美子執行  
委員長が病院の統合再編問  
題、年金者組合北村山支部  
の菅野真治組合員が北村山  
地域の最賃運動、医療生協  
やまがた労組の鍋島久遠執  
行委員長が「いのち署名」  
の取り組みについて、山形  
公務公共一般労組の海老名  
傑書記長が会計年度任用職  
員に関するアンケート等の  
取り組みについて報告しま  
した。医療労働者は「もう

使命感で働くことは限界だ。  
労働組合に結集するしかな  
い」と発言。地域医療構想  
で合併予定の病院では「合  
併によって病床が六四七床  
から約二五％減る」との告  
発もありました。また、北  
村山地域では管内の商工会  
に「中小企業支援と最賃改  
善」について要請・対話を  
広げている経験が語られま  
した。

最後に、県医労連の渡辺  
勇仁執行委員長が閉会あい  
さつ・団結ガンバロウを行  
い、春闘での奮闘を誓いま  
しました。

### 3.2全国いっせい 労働相談ホットラインの結果

当日は、全国で七二カ所  
百十一台の電話二〇三人の  
相談員が対応し二三一件の  
相談がありました。山形会  
場では六〇代のパート労働  
者二名から相談があり、一  
人は「コロナの影響もあり  
三月で閉店となる、給料は  
どうなるか、雇止めされな  
いか心配」、もう一人は月  
三万円の年金だけで生活が  
できず「旅館で夜アルバイト  
トをしていたが、一月〜二  
月は四日しか勤務していな  
い。どうしたらいいか」と  
いうものでした。全国的に  
も年代は六〇代が最多で、  
雇用形態は「パート・契約  
・アルバイト」が最多で  
三八・一％・正社員が  
三一・四％で、相談内容は  
「コロナ関連二五・六％」  
「解雇・雇止め一三％」と  
なりました。



団結ガンバロウをする総会参加者

山形県二〇二一年  
国民春闘共闘委員会  
が、二月二〇日の発  
足総会で発足。「人  
間らしくくらしを  
生かす」「人間らしく働  
けるルール」「いの  
ちが守られ安心して  
くらせる社会保障と  
公休体制」「憲法が  
いかされる社会」の  
「四つのつくる行動」  
を軸とした山形県  
二〇二一年国民春闘  
方針を採択し、葛西  
健司・県国公議長、

勝見忍・県労連議長、菅家  
誠・山形私教連委員長の三  
人の代表幹事など役員体制  
と予算も確立しました。

「分会会議で要求書案へ  
の意見を募っている。パ有  
法や日本郵政の最高裁判決  
を受け、パートの要求前進  
と組織拡大を進める。」  
(共立社労組)、「年末闘  
争、一時金は業績反映給で  
なく生活給だと認めさせ前  
進。」(医療生協やまがた  
労組)など、各加盟組織を  
代表し八人が発言しました。



発行責任者  
勝見忍  
山形市薬師町2-6-15  
TEL 023(615)2172  
FAX 023(615)2173  
URL: <http://www.yamagataroren.com/>  
Email: [yamagataroren@yahoo.co.jp](mailto:yamagataroren@yahoo.co.jp)

## コロナ禍だからこそ春闘で前進を 山形県二〇二一年国民春闘共闘委員会発足総会

# ニコン傘下ティーエヌアイ長井工場閉鎖 従業員の新雇用、 地元根差した産業振興を 県労連と置賜地域労連が長井市に要請

デジタルカメラの交換レンズの部品をつくるニコン傘下のティーエヌアイ工業の長井工場が三月末で操業を停止することが二月二日発表されました。

この事態をうけて県労連は置賜地域労連とともに、退職せざるを得ない従業員の再雇用の促進などを求めて、二月二六日長井市へ要請しました。

県労連の勝見議長、置賜地域労連の小山通隆議長らは市役所を訪れ、内谷重治市長宛の要請書を手渡しま

した。対応したのは藁谷尊（わらがいたける）産業戦略監と佐々木勝彦産業活力推進課長。要請事項は、▼「パートタイム・有期雇用労働法」にもとづき同一労働同一賃金の対応を重視する▼これまでの職歴・経験が生かされる再雇用先の確保など四項目。

藁谷氏は「今回の閉鎖は残念だ。ハローワークと連携し、希望する従業員がしっかりと再就職できるように対応したい」と答えました。佐々木氏は「企業にまかせきりでなく、市としても情報を収集して対応したい」と述べました。



長井市に要請する勝見議長ら

勝見議長は「産業構造の激しい転換によって、自治体が振り回され住民生活にも大きな影響が及んでいる」と指摘し、企業誘致のみに依存するのではなく、地域資源を生かし地元根差した産業振興をすすめるべきと強調しました。

## 「今夏の五輪×」6割強 コロナ共同アクションが 街頭署名・アンケート

「新型コロナウイルスから国民のいのちと暮らしを守るやまがた共同アクション」は二月二四日、山形市内で「安全・安心の医療・介護の実現」と国民のいのちと健康を守る「署名活動をいました。また、「コロナが収束しない中での東京五輪の開催の是非を問う」シールアンケートも実施しました。多くの通行人が足をとめ、署名やアンケートに応じた。六〇代男性は「中止」欄にシールを貼り、「コロナ禍でオリンピックを開催するのは人間の命や健康を考えているのか」と批判しました。看護師をしている二人組の四〇代女性は「病

院の経営は厳しい」「自由に話も会食もできず県外にも行けないが、なんとかしたい」と困難を乗り越えようという思いを署名に込めました。

シール投票結果は「中止」二〇人、「再延期」三六人と六割強を占め、署名は三〇分間で六九筆が集まりました。各団体から一四人が参加しました。

## コロナ禍中でも子どもの立場での保育を 保育士配置、市独自の乗せは継続・発展をと キヤラバンで山形市長要請

昨年十二月二十五日、県労連と山形地域労連による自治体キヤラバン二〇二〇山形市要請では、福祉保育労たんぽぽ分会（文原みなみ分会長）から三人の組合員（保育士）が参加。コロナ禍中での保育現場の切実な要求を訴え、共感を拡げています。

とちのみ保育園の川井真子組合員は、「現場は（国の）配置基準が充たされてきたとしても、子どもが起きていた時は子どもに関わらねばならず、時間内に事務作業も含め全ての業務を



要請を終え記念撮影する  
福祉保育労の参加者ら

済ませることができない。自宅に持ち帰ることも多いのが現状」「コロナ禍中、命を守るという事では消費作業も出てきて、更に逼迫状態」「未来を担う社会的責任がある保育士の処遇改善と配置基準を引き上げて頂いて、子ども一人一人の命を守ったり発達を保障したりという面を大切にしていけたら」とし、「一緒に国に要望して頂けたらなと思います」と訴えました。

佐藤孝弘市長は「国の基準がかかわるのが一番だと思えます」等と応じました。

市側は、老朽化が進み「面積が取れない」市立保育園の〇〜一歳児について、国の基準に独自に乗せしめて子ども四人に保育士一人

の配置をしてきたと明らかにしました。その上で、改築に伴う整備を進めつつ、上乗せをやめて「国の基準に近づくように」する考えを示しました。

これに対し、たつこの保育園の加藤結衣組合員は「（同園でも独自の経営努力で）何とか四対一でやっている」とした上で「大人の都合でやってしまうことが多々あるが、子どもの立場でどう進めるか」が大事と主張。「国の基準でなく、市独自の基準でやれるように考えて頂きたい」と力を込めました。

市側も「保育士不足とか、コロナ感染防止で密になる部分があり、考えなければなりません」と付け加えています。



署名やシール投票に応じる通行人